

熊本大学海外派遣留学生 報告書

記入日： 7年 20月 水 日

氏名	Eさん		
留学開始時学年	4 年次		
学部/教育部	教育	学科/専攻	中学校教員養成課程英語科
留学先機関名	リーズ大学	国・地域名	イギリス
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属（ 学部・研究科） <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2021 年 9 月 7 日 ～ 2022 年 6 月 21日		
奨学金	<input type="checkbox"/> JASSO海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input checked="" type="checkbox"/> トビタテ！留学JAPAN 【第 14 期】 <input type="checkbox"/> その他：		

1. 留学費用（日本円）

授業料（留学先）	0 円			
語学研修費	0 円			
教材費	5000 円			
ビザ申請費	55,000 円			
渡航費	200,000 円			
海外旅行保険料	167,000 円			
宿舎費	家賃	1,000,000 円	デポジット	32,650 円
生活費	光熱費	0 円 / 月	0 円 / 年	
	食費	40,000 円 / 月	400,000 円 / 年	
	通信費	3000 円 / 月	30,000 円 / 年	
	交通費	0 円 / 月	50,000 円 / 年	
その他	(娯楽 費)			200,000 円
その他	(費)			円
その他	(費)			円
合計	1,659,650 円			

2. 渡航前準備について

留学に向けて取り組んだ語学	
言語	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他： 語
受験した語学能力試験	<input checked="" type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> その他：
勉強方法	過去問を購入し、何度も解き直した。スピーキングに関しては、オンライン英会話を利用し、毎日英語に触れるように心がけた。

留学先の手続き	
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> 語学能力証明書（語） <input type="checkbox"/> 健康診断書 <input checked="" type="checkbox"/> パスポートの写し <input checked="" type="checkbox"/> その他：
大変だったこと、どのように取り組んだか等	<p>ビザ申請の手続きが非常に煩雑であった。主にネットに載っている情報を参考に進めたが、それでもよくわからない点があったため、国際課の方と相談しながら進めた。履修登録に関しては選択時に自分に合っているか不安だったが、実際に現地で授業を受けてから変更することができた。コロナにより、提出する書類や現地での隔離期間など多くの確認するべきことがあり、情報に翻弄されることが多かった。ネット上に多くの情報が載っているが、自分でどれが正しいかを判断する能力も必要だと感じた。</p>

3. ビザ・入国時に必要な手続きについて

ビザ申請			
有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	種類	Student Visa
申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所： 大阪	手続きに要した期間	約2ヶ月
手続きの流れ	<p>最初にアカウントを作成し、オンライン申請をした。その後にBRPをどこで受け取るかや申請日の登録を行う。大体の手続きが終わるとHISの登録があり、代金の支払いを行う。全てが終わった後に、書類を印刷する。</p>		
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> 入学証明書 <input type="checkbox"/> 残高証明書（金額： ） <input type="checkbox"/> 保険証 <input checked="" type="checkbox"/> パスポート <input checked="" type="checkbox"/> 語学能力証明書 <input type="checkbox"/> その他：		
ビザ申請以外で入国時に必要な手続き			
<p>私が渡航した時はコロナ禍であったため、特別な手続きが多く存在した。PCRでの陰性証明書や渡航フォーム（隔離先や電話番号を記したもの）を提出する必要があった。</p>			

4. 渡航関連

利用航空会社	経由地	
往路：JAL 復路：JAL	往路：なし 復路：なし	
手配（利用したサイト、旅行会社等）	旅程	
JALの公式HP	出発日時	09月 07日
	到着日時	06月 21日

7. 留学先機関について

履修登録	
時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 (7 月頃) <input type="checkbox"/> 渡航後 (月頃)
方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他:
留学生特例措置 (有りの場合、詳細をご記入ください)	
履修制限	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り ()
優先措置	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り ()
オリエンテーション (留学生専用)	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り (学校が始まる数日前に同じ学部留学生が集められ、オリエンテーションがあった。そこで友達を作ったり、チューターと対面する時間が設けられた。)
チューター制度	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り (留学生5,6人に対して1人のチューターがついており、毎月ミーティングを開いて困っていることや生活について報告をした。)
その他	
留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)	
<p>語学面ではLangage Zoneというものがあり、語学力に不安がある生徒に向けて勉強法やエッセイの書き方などのサポートをしてくれる。またLanguage Exchangeというシステムがあり、日本語を学びたい学生と繋がることも簡単にできる。毎週月曜日にはグローバルカフェが開かれ、さまざまな国の人と知り合うことができる。日常生活などで不安に感じることはチューターの方と相談して、解決策を教えてもらうことが多かった。</p>	
留学開始後に行った留学先大学の手続き	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生証発行 <input checked="" type="checkbox"/> 履修登録 <input checked="" type="checkbox"/> 大学IDの設定 <input type="checkbox"/> その他	
手続きの手順	
<p>Visaの手続きの際に指定した場所にBRPを取りに行った。その際に学生証の手続きも行い一緒にもらった。大学のネットワークの手続きや履修登録の変更も行った。</p> <p>NHSのかかりつけ医の登録などもあるが、寮や大学でのオリエンテーションで説明があると思う。</p>	
大学・学生の雰囲気	
<p>インターナショナルな大学なため、留学生に対するサポートが手厚かった。たくさんのサークルが存在し、イベントも毎日のように開かれているため友達との出会いの機会はたくさんあるように感じた。大学が街から近いこともあり、大学周辺だけではなく、街中で遊ぶ学生が多く、私生活も非常に充実していると思う。</p>	
サークル活動	
<p>大学内に体育系と文科系の両方のサークルが数多く存在しており、大学が始まる最初の週に全てのサークルがそれぞれのブースを持ち勧誘をしている。部活には入部のためにトライアルをしているところもあるため、気になる部活があったら積極的に詳細を聞くといいと思う。</p> <p>私はバレーボール部に所属しており、部員数は全体で100人ほどであった。経験者用のチームと初心者用のチームがあり、全てのメンバーが楽しめるようになっていた。練習は週に2日あり、毎週水曜部には試合がありいろいろな大学に行った。サークル内で毎週イベントのようなものもあるため、最低でも1つはサークルに所属することをお勧めする。</p>	

8. 留学に関するタイムチャート (留学するまでの準備)

2019年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2020年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	留学に関する説明会
2021年 1月～3月	IELTS受験
4月～6月	トビタテ奨学金申し込み
7月～9月	Visa申請、履修登録、飛行機チケット申し込み
10月～12月	
2022年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	

9. 1週間のスケジュールについて (授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	授業		授業	授業			
	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習		友人と遊ぶ
午後	授業	予習・復習			授業	予習・復習	友人と遊ぶ
		予習・復習					友人と遊ぶ
夕刻			バレーボール	バレーボール		バレーボール	
夜	Japanese Society	バレー部での集まり	友達と食事	友達と食事	Fruity	友達と食事	

10. 留学成果とアドバイス

留学しようと決めた理由
<p>熊本大学に入学した時から、交換留学を意識していた。理由は大きく分けて2つある。一つは、海外での生活に強く憧れていたからだ。洋画や海外のドラマを見るのが好きで、実際に現地でも生活してみたいという気持ちがあった。2つ目は将来のためである。教育学部に所属し英語教員を目指していたが、教育実習などで自分自身の英語力に不安を感じることも大きく、実際に現地で使われている生きた英語を身に付けたかった。また子供達に視野を広く持てと言うわりに自分自身がそのような経験をしたことないというギャップに強い違和感を持つようになり、実際に自らが経験する事で説得力が増すと考えたため。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備
<p>留学のためにしたことは英語力を高めることだ。毎日単語帳や英語の文章を読んだり、オンライン英会話を使って英語力の向上を図った。IELTSの試験には役に立ったと思う。しかしそれ以上に海外に行って感じたことは、外国人と喋ることに慣れていた方がいいということだ。実際に海外で友達と話したくても躊躇することや緊張することが多くあり、慣れるまでに時間がかかった。熊本大学にも交換留学生在がたくさん来ているため、彼らのチューターや友達になって実際に話すことで留学に行ったときに役立つと思う。</p>
留学先を選んだ理由
<p>私が留学先を選ぶ際に重視したことは自分の目的と一致しているかである。私の留学の目的は、英語教育について学ぶことと多くの人と出会い色々な価値観に触れることであった。英語教育に関しては、英語を第二言語として学ぶ人への学習法など自分の興味のある分野や講義が多く存在していた。そしてリーズ大学はインターナショナルな大学で多くの国から生徒が集まっていることを知り、よりグローバルな視点を育てることができると思いリーズ大学に決定した。情報を集める際に大学の公式ページや、Youtubeに載っている動画を見たりして実際に自分が生活している様子を想像していた。</p>
交友関係
<p>1年間の留学を通じて多くの友達を作ることができた。主とともに時間を過ごしていたのは、同じバレーボール部に所属している友達である。部活がある日はもちろん、授業の空き時間に一緒に勉強をしたり、休日は出かけたりした。毎週部活のメンバー全員が集まり何かのイベントを開いていたため友達を作ることが難しいとはあまり感じなかった。そのほかの交友関係としては、ランダムに開かれるパーティーに参加し友達ができたり、Japanese Societyで多くの人と出会った。特にJapanese Societyは週に一回イベントを開いているのでそこで多くの日本に興味のある人と知り合うことができた。</p>
困ったこと、大変だったこと
<p>留学に行くまでの段階で困ったことは、コロナによる手続きである。直前まで行けるかどうか分からない状態であり、実際に行けるのか不安の中で作業を行なった。また、前にも記したが書類の提出や隔離もありしなければいけない事が多く存在した。多くの情報がネット上に挙げられている中、何が正しいのか困ることも多かった。しかし、国際教育課の方々の助けもあり、なんとか不備なくイギリスに到着する事ができた。</p> <p>イギリスに着いてからは、言語の壁に苦労することが多かった。聞き取る事ができず、自分の言いたい事が言えないという悔しい経験もたくさんした。それらを克服できたのは、失敗を気にしなくなってからだと思う。失敗するのが当たり前と考えるようになってから、不思議と肩の力が抜け英語でのコミュニケーションの能力が向上して行ったと思う。</p>
学習内容・勉強について
<p>主に英語教育に関する講義を受講した。講義内容としては予習した内容についてディスカッションするのが主であり、最初は英語で自分の意見を話す事にとても苦労した。しかし、授業前に自分の言いたいことをまとめるなど、しっかり準備をすることで乗り越える事ができた。講義には多くの国の生徒が出席しており、色々な国の教育事情や考え方を知る事ができてとても自分の中の価値観が広がったと思う。</p> <p>自分の専攻外の授業もいくつか受講した。ユニークな授業もあり、日本では学べなかった分野について学ぶ事ができた。しかし、あまり専門性の高い授業をとってしまうと専門的な単語や難しい内容が混ざってくるので、簡単な授業内容のものをお勧めする。</p>

課題・試験について

イギリスの課題は日本より数は少ないが、一つ一つの課題がとても重たかった。テスト週間になると大学にある全ての図書館が終日埋まり、多くの学生が毎日課題に追われている。私は前期と後期で計6つの講義を受講しており、全ての課題がエッセイであった。今まで経験したことのない量で、テスト期間は1日中図書館に籠っている事が多かった。私はエッセイの書き方から学ぶ必要があり、学問的な単語の選び方や参考文献の載せ方などを授業外でチューターや無料講座を受け学んだ。留学をする前に学んでおくべきだったと後悔している。しかし、英語でのエッセイ作成や参考資料を読むことは今後の論文作成などにつながる良い経験になったと思う。

留学を通しての感想（留学を希望する人へアドバイス等あれば）

あっという間の1年間だった。それほど充実していたのだと思う。初めての海外生活で今までとは違う環境、言語、文化、毎日が新鮮で驚きの連続だった。もちろん全てが楽しかったわけではなく、言語の壁に苦しんだり、自分がわからなくなり、自分自身と向き合うことも少なくなかった。しかし、それらを乗り越えたことで自分に自信を持つ事ができ、多くのことを学ぶ事ができた。

留学を経て学んだことは数え切れないほどあるが、大きく2つ紹介する。1つは人とのつながりの大切さである。留学の準備からイギリスに着いてからも多くの人に助けもらった。この留学で、自分の目標に向かって一生懸命取り組むことが出来たのは、たくさんの人たちの支えがあったからだ実感している。海を越えても、ずっとつながってられる、素敵な人達が世界中にいるということは、これからの人生、私の心の支えになっていくと思う。2つ目は物事に対する視野が広がったと思う。留学前は海外の食べ物や文化を自分とは完全に異なるものと偏見を持っていたが、実際に現地で生活しさまざまな考え方に触れるうちに、違って当たり前であり、それを受け入れる事ができるようになった。

色々あったが、振り返ってみると、この1年間は夢の世界にいるようだった。この経験をただの楽しい思い出として終わらせるのではなく、これからの人生に活かしていきたいと思う。最後にもし留学に行くか迷っている人がいるならば、行くことをおすすめしたい。絶対に実りのあるものになると思う。

1 1. 卒業後の進路について

卒業後の進路について			
進路			
<input checked="" type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 進学	<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> その他：
いつ頃から就職活動を行いますか？			
留学終了後から。			
就職活動に関して、留学希望者に何かアドバイスがあればご記入ください。			
特になし。			

1 1. 履修した科目について（スペースが足りない場合は各自コピーして追加してください。）

履修した授業科目名			
Practice of English Learning Teaching			
使用言語	English	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	教育学部		
単位数	20		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： 20 ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	12		
担当教授	Dr Taguhi Sahakyan		
授業内容	英語を第2言語として学ぶ人に向けた英語教授法を学ぶ。		
試験・課題など	エッセイ3,000文字, 模擬授業		
感想など	第2言語話者に向けて効果的な教授法を学ぶことができた。また模擬授業という形で実践的に学ぶことができたのでよかった。		

履修した授業科目名			
Technology-enhanced language learning			
使用言語	English	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	教育学部		
単位数	20		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： 0 ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	12		
担当教授	Alice Deignan		
授業内容	デジタル機器を利用した言語学習の仕方を学ぶ。		
試験・課題など	エッセイ5,000ワード		
感想など	非常にレベルの高いディスカッションが毎時間行われ最初はついていけないことが多かったが、充実した時間を過ごすことができた。今コロナの影響もあり、オンライン授業やipadを使った授業が普及している。これらの利点や改善点を知ることによって今後の学習に役立てたい。		

履修した授業科目名			
English for communication			
使用言語	English	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	English Language		
単位数	10		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： 20 ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	27		
担当教授	Jane Kay		
授業内容	留学生に向けた英語でのコミュニケーション授業		
試験・課題など	ポスター作成。プレゼンテーション		
感想など	イギリスの文化やコミュニケーションにおいて重要なことを学んだ。イギリスでの生活に役立った。		

履修した授業科目名			
Second Language Acquisition & Learning			
使用言語	English	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	教育学部		
単位数	20		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： 20 ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	18		
担当教授	Dr Diana Mazgutova		
授業内容	第2言語話者の言語学習プロセス		
試験・課題など	エッセイ3,000字		
感想など	第2言語学習者の学習プロセスを知ること、どのように英語学習においてアプローチするべきかを学ぶことができた。		

履修した授業科目名			
Environment, Crisis and Creativity: Contemporary Nature Writing			
使用言語	English	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	文学部		
単位数	20		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： 20 ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	11		
担当教授	Dr David Higgins		
授業内容	私たちの住んでいる自然とのつながりを文字にする。		
試験・課題など	エッセイ1,000字と2,000字		
感想など	自分たちの周りの自然が変化していることに気づくとともに、私たちと自然の繋がりというのはなくてはならないものだということに気づいた。		

履修した授業科目名			
Leadership and Teams			
使用言語	English	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	心理学		
単位数	10		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： 10 ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	ハイブリッド		
授業時間数	12		
担当教授	Sam Lee		
授業内容	リーダーシップについて		
試験・課題など	エッセイ2,000字、グループプレゼンテーション		
感想など	リーダーシップの理論と、実際に活動する中でチームにおける役割を実感することができた。		